

# 2004/2005 度 L - ラーニング学習支援システム研究分科会 (第1回) 記録

私立大学図書館協会東地区部会

**開催日時** 2004年5月14日(金) 13:00 ~ 17:30

**開催場所** 多摩大学:D棟441A

**出席者** 池田剛透(多摩)、高野真理子(日本女子)、佐藤稔彦(駒澤)、金子和代(早稲田)、  
小田切夕子(麻布)、阿部潤也(東京歯科)、矢島加寿夫(東洋)

**オブザーバー** 大庭一郎(筑波)、豊田裕昭(国立国会図書館)

**欠席者** なし

**記録** 矢島

**配布資料**

- 1 第1回L-ラーニング学習支援システム研究分科会タイムテーブル
- 2 L-ラーニング・オンライン模擬試験の実施経過と次期フェーズ(抜刷り)
- 3 L-ラーニング学習支援システム研究分科会(Power Point)
- 4 多摩大学案内パンフレット

**導入** 議題に入る前に、池田氏より、配布資料1-第1回L-ラーニング学習支援システム研究分科会タイムテーブルに沿って進行する旨と、分科会の概略について述べられた。

**議題**

- 1 自己紹介  
各自から、所属、図書館経験、現在の業務、参加動機、L-ラーニング・オンライン模擬試験の感想、今後の抱負等が述べられた。
- 2 L-ラーニング学習支援システム研究分科会経緯の説明  
池田氏より「L-ラーニング学習支援システム研究分科会」(Power Point)と「L-ラーニング・オンライン模擬試験の実施経過と次期フェーズ」(抜刷り)をもとに経緯の説明がされた。

3 分科会の活動について

1) 担当(書記)、開催予定が下記の通り決定された。

2004年度

回	開催日	会場校	書記
1	5月14日(金)	多摩大	矢島
2	9月 日(金)	日本女子大	高野
3	11月下旬(金)	未定	佐藤
4	3月中旬(金)	未定	金子

2005年度

回	開催日	会場校	書記
1	5月 日(金)	未定	小田切
2	9月 日(金)	"	池田
3	11月下旬(金)	"	阿部
4	3月中旬(金)	"	矢島

2) 会計について

池田氏より、私立大学図書館協会東地区部会のHPからダウンロードした、会計に関わる要項に基づき説明があった。内容は、新規で、口座を開設。領収書(3年保管)収支報告書の作成等。担当者決定は、保留。

3) 予算について

池田氏より、下記の通り説明がされた。

研究部会に一律 30,000円  
 会員1人あたり 1,500円 (10,500円)  
 会費年間 3,000円 (21,000円)  
 合計 61,500円

4) 刊行物の予定

8月に開催される大学図書館問題研究会全国大会にて、テーマ、成果を発表したい。研究報告書を作成し、印刷製本して、関係各所へ配布予定。

- 4 年度計画の作成
  - 1) 年間スケジュールの決定が原案の通り、確認された。ただし、例会については確認済み。
  - 2) 分科会2本の柱について  
池田氏より、配布資料2、3を基に、説明がされた。
- 5 具体的な問題作成方法、推敲方法
  - 1) 問題は業務に関わる問題(レベルは、基礎知識)  
担当別とか、グレード化については、関係なくとにかく総数を上げる。目標の年間250問を達成する。問題作成時のルール、推敲時のルールは下記の通りとする。
  - 2) 図書館学・採用問題的問題作成については、大庭先生にご協力を頂くことが確認された。
  - 3) 作成時のルールについての確認事項
    - ・英数字は半角で入力
    - ・問題文は、である調、解説文は、ですます調。
    - ・「正しいものを選び」、「間違っているものを選び」、どちらでもOK
    - ・複数( )埋め問題の組み合わせを選択でもOK
    - ・問題は、100字を目安とする。(回答するのが、嫌にならないように)
    - ・解説も、350字を上限の目安とする。
    - ・正解の根拠となるものを、必要と思われる情報源にリンクを張る。
    - ・4択を記入する時には、必ず1番に正解を記入すること。
    - ・登録時「おなまえ(苗字のみ)・タイトル(問題)・メッセージ(解説文)」を入力
    - ・解答が曖昧なもの、グレー問題は作成しない。
    - ・まぎわらしい、引っ掛け問題は作成しない。
    - ・解釈が何通りにもありえる物は作成しない。
    - ・職場で輪を広げる。
    - ・リンク先は公式サイト、個人が作成した物は避けること。
  - 4) 推敲時のルールについての確認事項
    - ・よりよい問題作成のために、修正・指摘は遠慮をしない。
    - ・OKルールの確認 4人のメンバーからOKが出ると採用される。 テストページへOKの場合は先頭に + 名前 例:「 矢島OKです」
    - 要修正の場合は先頭に + 名前(必要箇所を指摘) 例:「 変更しては? 矢島」
    - 過去に出第された。問題として不適合。悪問の場合。 例:「 × 同様の問題あり矢島」
    - ・作者修正の場合: 修正矢島
    - ・作者取り下げの場合: ×問題取り下げ
    - ・掲示板に上げたり、修正をした場合には、メールで「新規or修正を掲示板に上げました。チェックして下さい。」を出すこと。
  - 5) 問題採用までをプロセス確認  
掲示板に問題投稿      推敲      採用      テストページ      チェック      公開へ
- 6 学習目的のWebページを作成する。  
既存の有益なページを有効活用して、勉強の手助けをする。問題を解答しただけで勉強をした気にさせないように工夫する。(解答を覚えるのが勉強ではない)
- 7 その他
  - 1) 池田氏より、5月下旬に開催される、世話人会議で懸案事項を確認し、情報を流す。
  - 2) 次年度の年頭に計画修正し、最終目標を設定する。
  - 3) 当面現行のMLで、情報を流す。私立大学図書館教会のサーバーが利用可となれば切り替える。
  - 4) 掲示板についても、画像が添付できるものにする。(音声も含めて)
  - 5) 設問に修正…修正履歴を作成し、公開する。
  - 6) 問題の分野別、グレード化は問題数が蓄積されたときに、実施する。  
そのプログラムについては、池田氏の他出来るメンバーにより同時進行で作成する。
  - 7) 大学図書館員の「学習の場」を提供し、できないことで、学習意欲、学習をすることへの動機付けを与えることを念頭に置く。

- 8) 掲示板利用可能の連絡が池田氏からあれば、逐次問題を掲載する。  
スケジュール  
6月15日までに各自10問  
7月下旬まで問題の推敲  
8月公開  
9月会合にて評価、反省
- 8 多摩大学図書館見学(希望者)  
池田氏の案内で館内を見学。
- 9 懇親会  
「フレスコ」イタリアンレストランにて、自由参加で行われた。参加者6名

以上

次回開催 9月に日本女子大で開催予定